

おもしろさのひみつ解説文をかこう

～作品のおもしろさを見つけて伝え合おう～

5年 国語
「注文の多い料理店」
読書指導・利用指導

ねらい

- 物語の構成や表現の工夫を見つけて、作品の良さを解説することができる。
- リテラチャーサークルを行うことにより、作品の読みを深め、宮沢賢治作品の良さを味わう。

学 習 展 開

- ① 学級で教材文「注文の多い料理店」を読んでおく。
- ② 司書教諭がリテラチャーサークルの意義や方法について指導する。
- ③ 「注文の多い料理店」を使って、リテラチャーサークルを行う。（教材文の読み取りへつなげる）
- ④ 教材文の読み取りを行う。
- ⑤ 「どんぐりと山ねこ」を使って、リテラチャーサークルを行う。（解説文につなげる）
- ⑥ 物語をおもしろくしている表現の工夫を探し、見つけた秘密を解説する文章に書く。
- ⑦ 解説文を読み合い、感想を交流する。



ワークシートに書いたことをもとに話し合う

★指導のポイント

- ◆ 意義をしっかりと理解させる。
- ◆ 自分の考えたことをしっかりと伝えさせる。
- ◆ 友だちの考えたことを受け止め、自分の考えと比べながら話し合いをさせる。
- ◆ 宮沢賢治やその他の有名児童文学作家の本に関心を持たせるよう、学習の様子を図書館だよりや司書教諭だよりなどで伝え、本の貸し出しについて呼びかける。

◆司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書は、教員と相談し授業のねらいにそった本を複数揃える。
- 学校司書は、教室で宮沢賢治作品を読むことができるように、ブックトラックに本を用意する。
- 司書教諭は、担任と学習計画や本の内容について打ち合わせをする。
- 司書教諭と学校司書は、困っている児童にアドバイスをする。

資料

「宮沢賢治のおはなし (1) どんぐりと山ねこ」『どんぐりと山ねこ』/宮沢賢治 (岩崎書店)